

防災ボラ通信

発行／安城特別支援学校 防災ボランティア

第一号 令和元年7月

昨年度立ち上げた防災ボランティアも今年度で2年目に入りました。昨年度は、まず初めに皆さんが不安に思っていることなどアンケートをとり、それをもとに学校に必要な防災対策を考え活動してきました。是非、皆さんにも活動内容を知ってもらいたい！ということで今回「防災ボラ通信」を発行させていただくことにしました。

令和元年度 第1回防災ボランティア会議の報告！～トイレパニックにならないために～

トイレは発災後すぐに必要になります。その時になってどうしよう…と考えている時間などありません。

そこで、少しでも安心できるトイレ環境について考えていく必要があります。

【ところで皆さん、安特のトイレが洋式より和式の方が多いいことをご存知ですか？】

安特には和式を使う生徒も沢山います。そこで今回は災害用和式トイレについて考えてみました。

3班に分かれ、机の上には段ボール箱、トイレ袋、ランタン、etc…アイデアを出し合いました。



蹴とばしても動かないように底のふたを広げて…

トイレがずれないように足場を工夫したトイレ



ふたを一枚持ち上げたら…おっ！トイレっばい

尿が飛び散らないように工夫したトイレ



コピー用紙の箱って大きさピッタリ、たくさんある♪

学校にあるもので工夫したトイレ

この他にもいろんなアイデアが出て♪

でもちょっと待って！👏

ライフラインが止まれば、トイレは真っ暗…ランタンをどのように学校のトイレにつけたらいいの？

そこで、じゃ～ん！針金ハンガーを利用してみては？という声。



こんな風に♪

体育館のトイレです。ハンガーを伸ばしS字フックのように壁にかけたらい感じでした。



針金ハンガーなら形も変えられるのでランタンの高さも調節でき、様々な場所に引っかけられます。
ナイスアイデアです



たくさんの方が集まるといろんなアイデアが出ます。子供たちが災害時に少しでも安心できるように、学校の防災対策についてこれからも考えていきたいと思います。